

となりました。この事により  
十校区の灯路まつりの夢は崩れ  
てしましました。  
折角続けてきた灯路まつりが



健軍校区自治協議会

会長 村上徹郎

## 第六回夏越し灯路まつりに寄せて

夏越し灯路まつりは、今から  
七年前東部十校区の自治会連絡  
協議会によつて、立ち上げられ  
ました。熊本市が政令指定都市  
になる事を見すえ、この十校区  
がまつりを通して、東区の核と  
なり共に榮えようと云う願いが  
込められていました。

しかし平成二十二年熊本市が  
政令指定都市になり、十校区の  
うち三校区が東区より抜けるこ



# 健軍校区 社協だより

## 第39号

〈編集発行〉  
健軍校区  
社会福祉協議会  
〈印 刷〉  
株 太陽社

合われました。健軍校区は、健  
軍神社、八丁馬場等歴史的文化  
財を有し、これを活かして健軍  
校区単独でもまつりを存続しよ  
うと気運が高まってきた。  
早速 自治協議会に協力をお  
願いしたところ快く受け止めて  
頂き、健軍校区のまつりとし  
て、復活することになった次第  
です。

理事会の皆さん全てが参加  
して頂き、一丸となつてまつり  
を推進することになりました。

これまでのまつりと変わった  
ことは、住民の参加を第一に取  
り上げたことです。その一つが  
三〇〇〇器の竹灯籠を、子ども  
たちの作品（ラミネート加工）  
に変えた事です。二四〇〇器の  
子ども達の作品が竹灯籠に取  
て代わりました。お陰で家族づ  
れの見学者が増え、これまでよ  
りも賑やかで立派であったと自  
我贊しているところです。



バザーやステージ、オブ  
ジェ、交通整理等も自治協議会  
の役員さんが甲斐甲斐しく活動  
して頂き、健軍校区の団結の力  
を見せてくれました。

最後になりましたがこの祭り  
を物心両面から支えて頂いた健  
軍神社を始め協賛企業の皆様に  
衷心より感謝申し上げます。

何とも心強く、頼もしい限りで  
した。

又 健軍神社宮司様のお計ら  
いで健軍神社夏越し前夜祭  
と夏越し灯路まつりの共催事業  
としてスタートすることになり  
ました。神社と住民のまつりが  
合体できて大変良かったと思いま  
す。



ヨイドン



入るかな？



## 健軍校区大運動会・優勝二連覇について

健軍校区二町内体協理事

松崎 龍一郎



十月七日の健軍小学校で行われた二年に一度の「健軍校区大運動会」において、我が健軍校区「二町内」が、大会優勝・二連覇を成し遂げました。

前回優勝は、四十年ぶりでした。そして今回も優勝ができた二連覇の要因は、大きく三つと考えています。

一つは、遠く優勝には及ばなかった前々回の反省に基づき、それまでは自治会・老社会と子ども会の方々と「お年寄りと若い人」という感じで、バラバラに行って来た練習や打ち合わせを体協の大先輩でOBの村上健雄さんを選手団長として復帰してもらい、意見やアドバイスを基に自治会・老社会・そして子ども会の方々と何度も話し合

いと打ち合わせを行いました。  
二つめは、その打合せと話しが、応援合戦に参加する様にしました。選手以外の方、一人でも多くの町内の方に、この運動会に参加してもらいたい為に、町内が一つに盛り上がると言った事での参加です。

特に今年は、「二町内オリジナルのキャラクター」「さわモノ」を起用して、みんなで「クマモン」体操を踊りました。その際に、サロンの方々が紅白の両端にフリフリの付いたバトンを作つて頂き、それをきっかけに子ども会の女の子達も自分たちでもメイクを作つて積極的に参加する様になりました。

その応援合戦の参加が午後からの競技において、前回も今回もダントン一位の成績が出て「午後の競技に強い二町内」「応援合戦の後、強い二町内になりました。最後に、我が二町内は

二つめは、その打合せと話しが、応援合戦に参加する様にしました。選手以外の方、一人でも多くの町内の方に、この運動会に参加してもらいたい為に、町内が一つに盛り上がるといと打ち合わせを行いました。  
二つめは、その打合せと話しが、応援合戦に参加する様にしました。選手以外の方、一人でも多くの町内の方に、この運動会に参加してもらいたい為に、町内が一つに盛り上がるといと打ち合わせを行いました。  
二つめは、その打合せと話しが、応援合戦に参加する様にしました。選手以外の方、一人でも多くの町内の方に、この運動会に参加してもらいたい為に、町内が一つに盛り上がるといと打ち合わせを行いました。  
二つめは、その打合せと話しが、応援合戦に参加する様にしました。選手以外の方、一人でも多くの町内の方に、この運動会に参加してもらいたい為に、町内が一つに盛り上がるといと打ち合わせを行いました。

「親・子・孫」三世代が仲良く



気をつけて！

と言うのがモットーです。選手宣誓を務めて頂いた、浦上芳之さん「親・子・孫」の三世代の皆さんが、宣誓された「健軍校区の六つの徳目」を実践してきました結果であり、これからも「六つの徳目」を心の礎として実践していくけば、我が二町内は色々な行事を通して、「親・子・孫」三世代が、仲良く暮らせる安心・安全な健軍校区の「まちづくり」に貢献できると考えています。

この度、健軍校区三町内の田端組と滝組の総意により新しいお地蔵さんをお祀りすることになりました。

平成二十四年八月十九日敬意をもつてお迎えしました。

毎年十月二十四日は地蔵祭です。その年の組内頭が祭りを仕切ります。お地蔵さんのまわり

文政三年（一八二〇年）江戸幕府第十一代將軍（徳川家斉）の頃、この地の辻に祀られていました。お地蔵さんは風化によりお顔がわからぬほど壊れていました。

健軍三町内  
内藤 洋子

## 新ひいお地蔵さん



右手に錫杖（しゃくじょう）  
左手に宝珠を持つお地蔵さんは、無限の力で子どもを助け、慈悲の心で困った人に救いの手を差し伸べることがある語り継がれています。



を洗い清め新しい前だれを掛け、お花と果物や菓子を供え、お寺様に読経をお願いします。夜になると多くの各家では、お煮しめと山盛りにしたご飯などを供え感謝の心をつたえます。

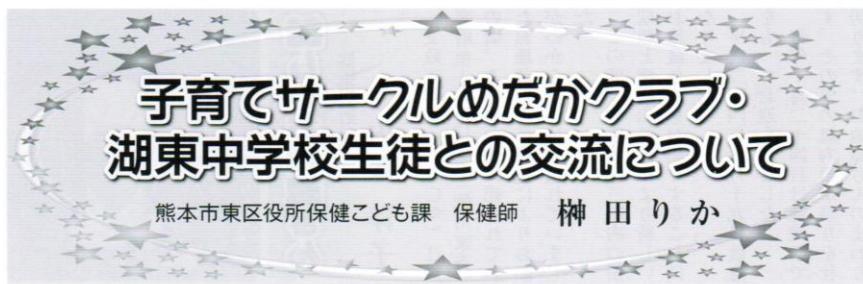
## 第十三回 ちびっこまちづくり 相撲大会



### 試験表

平成24年10月20日(土) 9:00開会  
健軍神社境内





平成二十四年十月五日に、子育て支援ネットワーク

健軍校区の子育てサークルめだかクラブの親子と、湖東中学校の一年生との交流会を行いました。

子育て支援ネットワークと

は、「安心して子育てができるまちづくり・子どもたちがすこやかに育つまちづくり」を目標に、健軍校区で年に三回行われている会議で、参加機関は社会福祉協議会・民生児童委員・子どもを守る会・健軍保育園・せきい保育園・湖東幼稚園・湖東第二幼稚園・健軍小学校・湖東中学校・マリスト高校・えんじえるスマイル(発達障がい児の親の会)・東区役所保健子ども課健軍担当保健師です。

会議の中で、地域の乳幼児と中高生の交流を企画し、昨年はマリスト高校とめだかクラブの交流を行い、今年度は湖東中学校とめだかクラブとの交流を行いました。今回は湖東中学校とめだかクラブとの交流

会についてお伝えしようと思

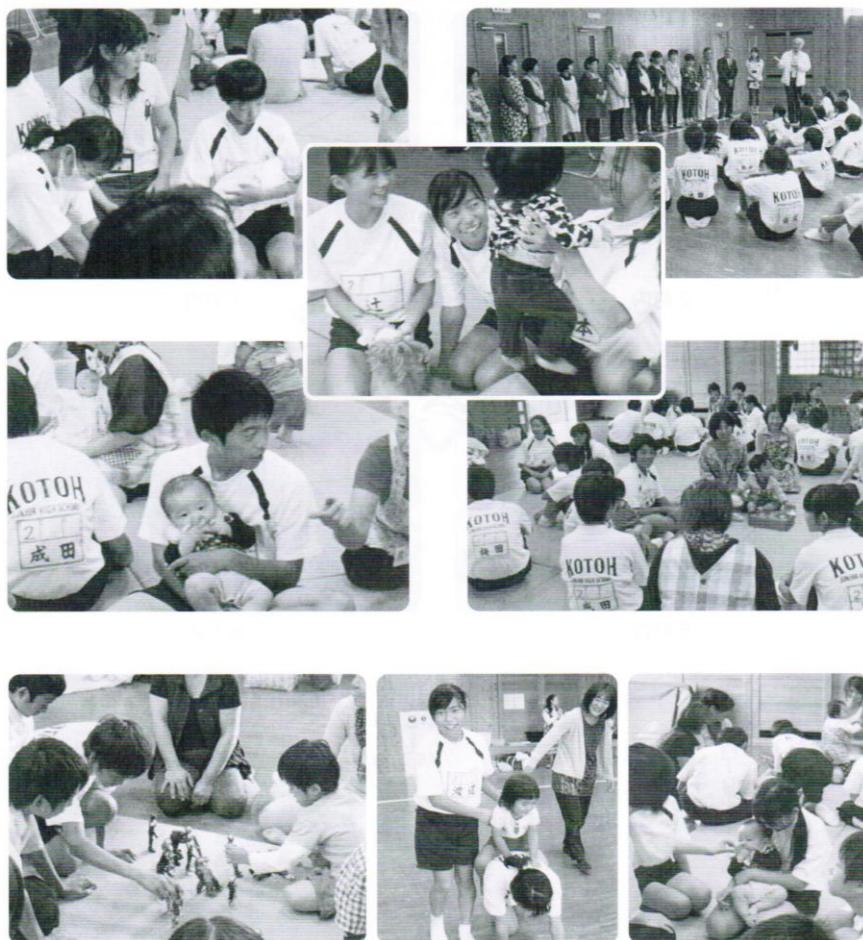
ます。

交流会は、中学生と親子と民生児童委員さんと子育てネットワークの参加者でグループを作り一緒に遊びながら交流を行いました。その中で妊娠ジヤケットの着用・赤ちゃん人形で抱き方の体験を中学生にしてもらいました。はじめは緊張がありましたが、時間の経過とともに笑顔が見られるようになります。

お母さんたちからは「自分が中学生の時にこのような体験ができていたらよかったです。」の大切さが重く感じられた時間だった。「、「お兄ちゃん・おねえちゃんが一生懸命遊ぼうとしていて微笑ましかった。年の離れたことなど触れ合う機会がないので双方にすごくよかつた」などの感想があり、中学生からは、「赤ちゃんと同じ気持ちで接することができれば、赤ちゃんとの間にうまく溶け込むことができるし、赤ちゃんの気

持ちも何となくわかるような気がした。」「「赤ちゃんは泣き声でお母さんを呼びます。私には何をすればいいかわからないけどそれを一瞬で判断するお母さんは本当にすごいとおもいました。ミルクをあげたり寝かせたりすることは当たり前に思えるけど、どれほど大変なことがわかった」、「妊娠している人・子ども連れの人がいた場合は電車やバスの席をゆずったり子育てのサポートができるようになります。」などの感想がありました。

今回のふれあい交流会は、命のつながりを感じられるものでした。自分より小さい子どもに寄り添い気持ちを通い合わせること、親として自分の子供の将来像を想うことなど、それぞれのいろいろな思いが重なる時間だったと思います。これからも、地域の交流としてつないでいきたいと強く思いました。



### 我が町の状況

(1)概要 平成24年11月1日現在

項 目	数 値
人 口	12,541 人
世帯 数	5,728 世帯
平均世帯人員	2.19 人
出 生 数	135 人
児童 数	716 人
高齢者 数 (65才以上)	2,417 人
高齢化 率	19.28 %
15才以下人口	1,780 人
15才以下比率	14.19 %





## 敬老会

ご芳志有難う  
ございました

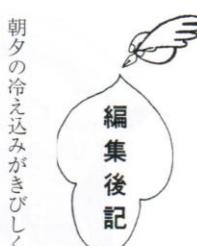
平成二十四年六月以降、次の方から健軍校区社会福祉協議会に対し、多額の香典返しのご寄付をいただきました。浄財は地域の福祉事業推進の為、有効に活用させていただきます。

ここに紙面をお借りいたしまして厚くお礼を申し上げます。



◇ 江藤 和幸 様  
健軍一丁目十四—十二  
◇ 中村 芳興 様  
健軍本町七—九  
◇ 光永 弘子 様  
健軍四丁目十一—十一  
◇ 平野 かよ子 様  
健軍本町十二—二十八

「成功」とは目の前の目標に対して良い結果が出ること、「成長」とは良くない結果も受け入れて、それでも未来に向かって果敢に挑戦していくこと」という言葉を耳にしたことがあります。取り組んだすべてのことがうまくいくに越したことはあります。しかし、混沌とした世の中だからこそ、「成功」を求めるながらも、常に「成長」することを忘れない人や社会でありたいと願うものです。（細野）



朝夕の冷え込みがきびしくなるとともに、今年も年の瀬を迎えるました。世界全体が先の見えない不安感に満ちていることもあって、明るい話題を求めて続けた一年だったと言つても過言ではないでしょう。

「成功」とは目の前の目標に対して良い結果が出ること、「成長」とは良くない結果も受け入れて、それでも未来に向かって果敢に挑戦していくこと」という言葉を耳にしたことがあります。取り組んだすべてのことがうまくいくに越したことはあります。しかし、混沌とした世の中だからこそ、「成功」を求めるながらも、常に「成長」することを忘れない人や社会でありたいと願うものです。（細野）